

第255回 「COC」と「しま」と私：PBL科目「しまなび」 でのeラーニング実践事例から

- 文科省の地(知)の拠点整備事業(COC)として、
長崎県立大学では2013年より「長崎のしまに学ぶ」を実施
 - 全学必修 しまなびプログラム (2科目)
 - 1年間=事前学習+グループワーク+フィールドワーク
 - eラーニング タブレット(スマホ)+manabie (独自LMS)
 - PBLを支援する、フィールドワーク作成を支援するための独自機能
 - プロジェクトの進め方
 - 1年目(2013) 様々な調達と大まかな雛形作成
 - 2年目(2014) 試行として270人としまへ
 - 3年目(2015) 600人の学生と教員をしまへ
 - 4年目(2016)+ 改善版の実施と今後進めること

私的見解

地(知)の拠点整備事業(COC)

- 大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とする文部科学省の事業です。出典：<http://sun.ac.jp/coc/>
- 地域の課題(ニーズ)と大学の資源(シーズ)を生かし、双方に必要な取り組みを全学的に行う
- 社会貢献，地域志向の研究，地域志向の教育

出典：http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/07/16/1332607_01_2.pdf

- 「長崎のしまに学ぶ」
地域＝長崎県の離島，学生がしまに行きたくなる教育

長崎のしまに学ぶ

—つながらる とき・ひと・もの—

人材育成

- 地域を担うボランティアリーダー育成
- 外国語による観光ガイド育成
- 女性人材の育成

健康増進

- 生活習慣病、寝たきりの予防
- 食育活動の取組支援
- 安全安心出産と子育て支援

産業の振興

- 地域資源を活用した機能性食品開発
- 流通・物流の効率化

伝統文化の継承

- 「長崎を学ぶ」講座の実施
- キリスト教関連遺産保全の取組支援

地域に
還す

しまを
知る



「しまナビ」プログラム
実施マニュアル(本学作成)

しまの地理
しまの交通・物流
しまの歴史
しまの医療・福祉

しまに
学ぶ

フィールドワークの活用

- 「しま」でのフィールドワークの必修化
課題解決能力の育成
- 「しま」をフィールドに地域が抱える課題を体験し、解決策を検討
- 「しま」をフィールドに就業力・社会人基礎力の養成
- 「しま」をフィールドに就業力・社会人基礎力、リーダーシップを養成
- カリキュラム改革**
- 「しま」関連科目の増加

地域を
つなぐ

地域間の人と物の交流

- 教員・学生のフィールドワークを通じた人との交流
- 「しま」の実習を通じた人との交流
- 学生による旅行プランの開発
- モニターツアーの実施や共同物産展等による地域間の交流
- ICTの利活用**
- 遠隔講義システム活用
- モバイルラーニングシステム導入

取組事例を
県内に普及

しまナビプログラムの主にカバーするところ

概要図出典:
<http://sun.ac.jp/coc/>

しまなびプログラムの目的

「まなびのプロセス」 で学習力を育てる

- ・ 自ら考え、計画し、実行し、評価するプロセス
- ・ 自ら学ぶ力など社会人基礎力の育成を通して、研究力、就業力を向上させる

「しま」は 第3のキャンパス

- ・ 佐世保＋シーボルト＋しま
- ・ 日本一の離島の多い長崎県で離島の活性化は急務
- ・ 若者目線での問題解決が、未来のしま・地域に繋がる

→ [科目のながれ](#)

7つのしまへ 学生を派遣

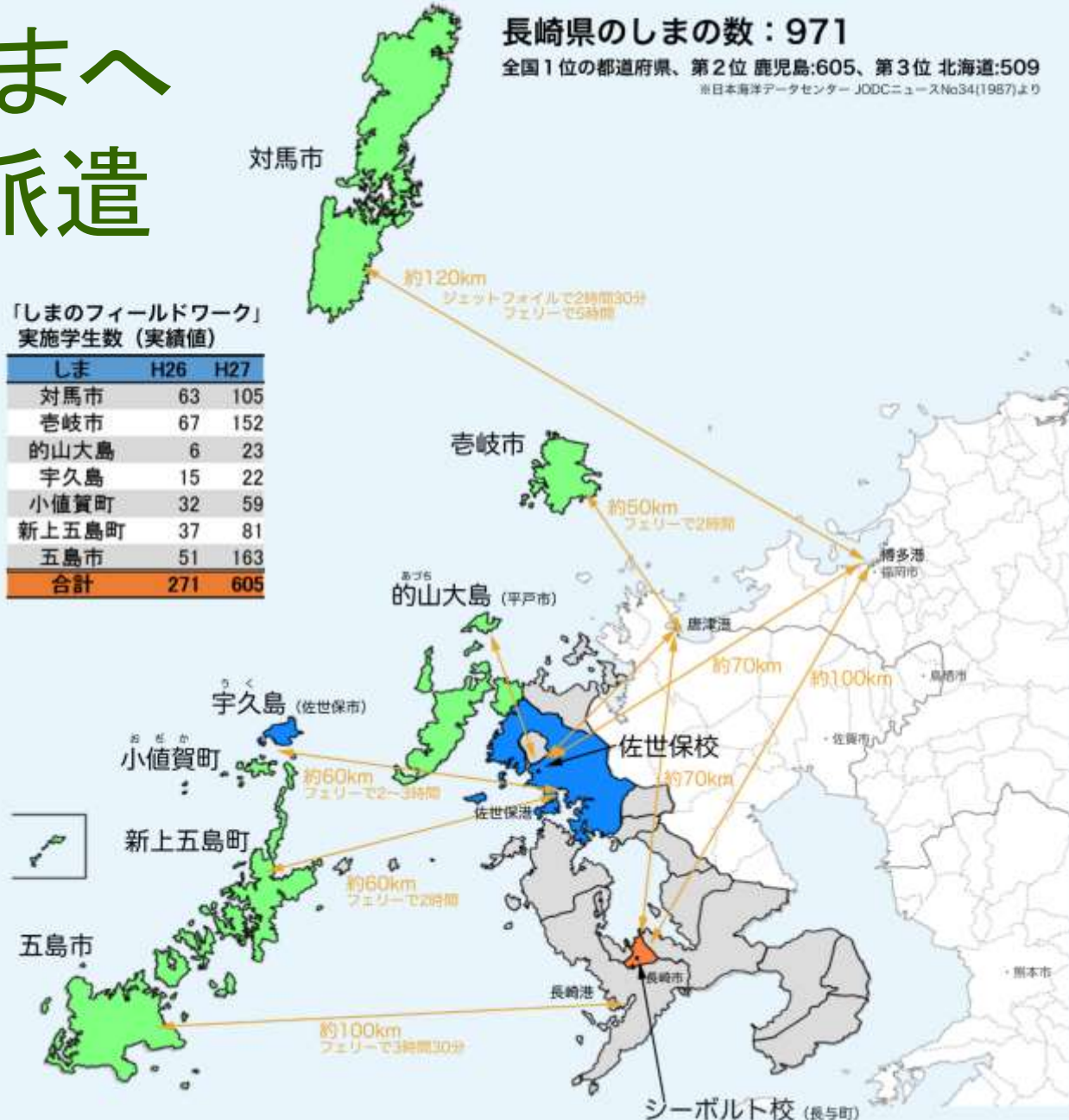
長崎県のしまの数：971

全国1位の都道府県、第2位 鹿児島:605、第3位 北海道:509

※日本海洋データセンター JODCニュースNo34(1987)より

「しまのフィールドワーク」
実施学生数（実績値）

しま	H26	H27
対馬市	63	105
壱岐市	67	152
的山大島	6	23
宇久島	15	22
小値賀町	32	59
新上五島町	37	81
五島市	51	163
合計	271	605



科目名
単位数

講義科目「長崎のしまに学ぶ」2単位(必修)
演習科目「しまのフィールドワーク」2単位(必修)

→講義
→演習

(※平成28年度より全学部必修)

担当教員

専任教員全員(共通シラバス・指導マニュアル作成のもと実施)

講義科目

・学習管理システム(manabie)によって
課題提出・自宅学習を管理

「しま」についての事前学習
・PBL学習法・長崎のしま・フィールドワーク先の
しまの最新事情

PBLによる
フィールドワーク計画の作成
①課題(テーマ)の発見 ②目標設定 ③資料収集
④目標の達成方法の検討 ⑤フィールドワーク計画

演習科目

しまのフィールドワークの実施
(4泊5日)
(新上五島町、五島市、杵岐市、対馬市、宇久町、的山大島
小値賀町)

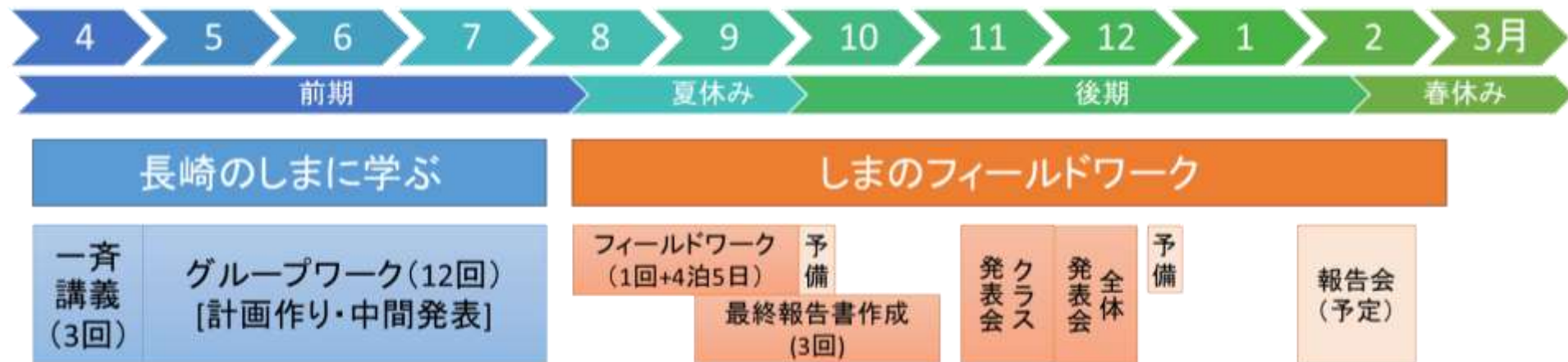
まとめ・発表会の実施

専門科目による
深い学びへ繋ぐ



しまなびプログラム
(1年から2年に必修)

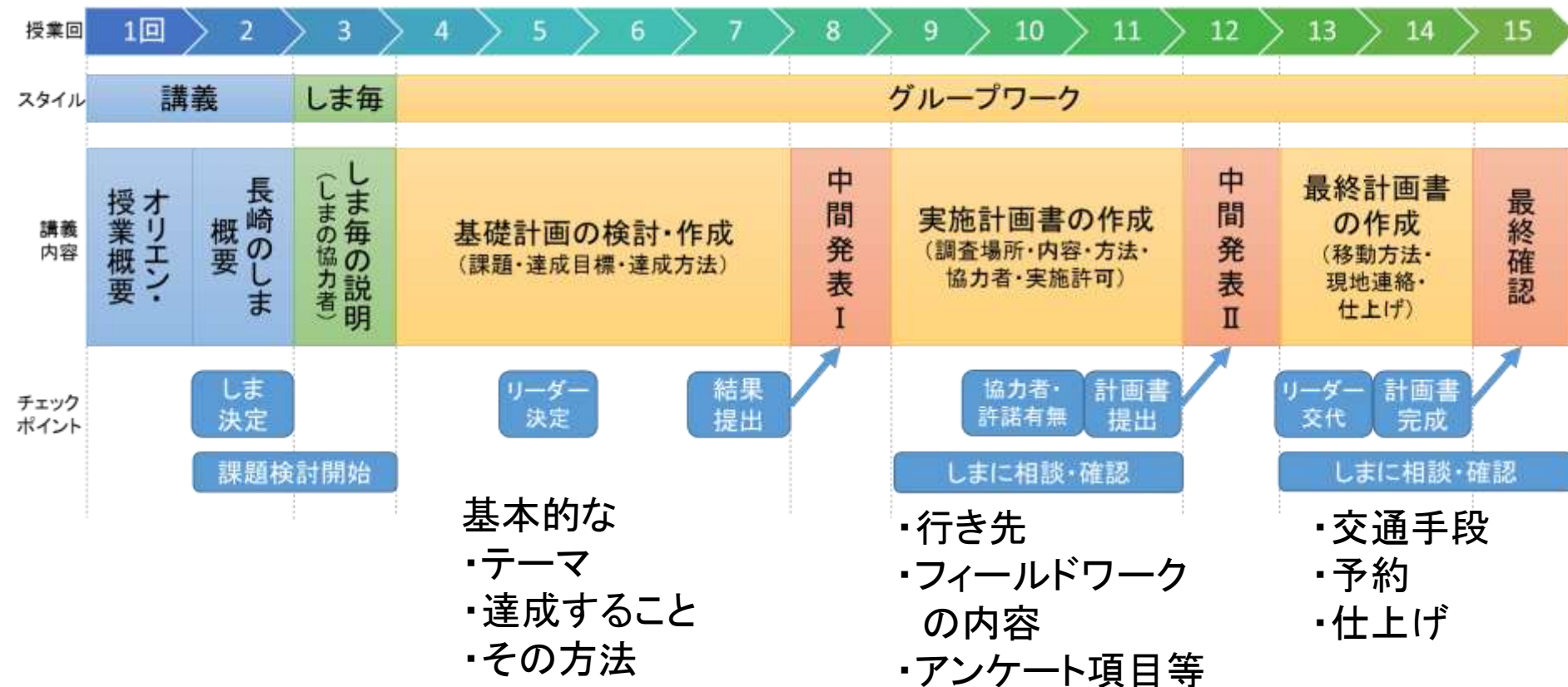
しまなび 年間スケジュール



1グループ=10名程度
教員1名

クラス=5~10グループ

講義科目「長崎のしまに学ぶ」



演習科目「しまのフィールドワーク」

授業回 (相当)	1回	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
スタイル	講義	フィールドワーク										自習(教室等)	講義		
実施内容 (出発前日)	出発前確認	フィールドワーク 1日目 しまへの移動	フィールドワーク 2日目	フィールドワーク 3日目	フィールドワーク 4日目 しまでの報告会	フィールドワーク 5日目 しまからの移動	最終報告書作成 ・ 発表作品作成 (スライド等)					発表会			
チェック ポイント	計画書 確認	日報 提出	日報 提出	日報 提出	日報 提出	日報 提出	日報 提出	報告書・ 作品提出							



フィールドワーク日程(例)

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
8:00	集合	宿から移動	宿から移動		
10:00	しまへの移動(往路) 大学バスで博多港へ	フィールドワーク2 厳原商店街 市民・観光客 インタビュー	フィールドワーク4 ふるさと伝承館 対州そば師 現物調査	報告会準備 データ整理 報告内容の作成 追加質問の整理	作業 報告書用のデータ整理
12:00	博多港から ジェットfoilで 対馬(厳原港)へ	昼食	昼食		昼食
14:00	昼食	フィールドワーク3 漁火の湯(足湯) 利用者 インタビュー	フィールドワーク5 和多都美神社 観光客 インタビュー	昼食	しまから移動(復路) 対馬(厳原港)から ジェットfoilで 博多港へ
16:00	フィールドワーク1 対馬市役所 市職員 観光情報の聞き取り			活動報告会 (市役所など)	大学バスで大学まで戻る
18:00					
20:00	宿泊 夕食・日報提出等	宿泊 夕食・日報提出等	宿泊 夕食・日報提出等	宿泊 夕食・日報提出等	



manabie(まなびー) 独自LMS

manabie ~学生用~

b2111

ログイン

- 始めは既存LMSでやってみた

→ 2014年試行

- 困った問題

– PBLの支援

- 話し合い支援

– フィールドワーク管理

- 整合性
- 事務的決算処理

講義科目	演習科目	資料集	しま紹介	学生発表	NOTE	
<p>竹部G(西30) FW実施期間 9月1日(火)~9月5日(土) (リーダ)今井日香(副リーダ)高橋真由(連絡係)川本麻衣、今井日香、大場真由、瀧田水紀、出口依奈、平島梨子、吉谷がおり</p>						
講義日	個人提出物				グループ提出物	
	自己確認	まとめ報告	演習	社会人基礎力	まとめ報告	リーダ報告
第1回 2015年04月07日 13時00分~14時30分	2015年4月8日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月8日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月8日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月8日 17時00分~17時30分 評価済		
第2回 2015年04月14日 13時00分~14時30分	2015年4月15日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月15日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月15日 17時00分~17時30分 評価済			
第3回 2015年04月21日 13時00分~14時30分	2015年4月22日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月22日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月22日 17時00分~17時30分 評価済			
第4回 2015年04月28日 13時00分~14時30分	2015年4月29日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月29日 17時00分~17時30分 評価済	2015年4月29日 17時00分~17時30分 評価済			
第5回 2015年05月12日 13時00分~14時30分	2015年5月13日 17時00分~17時30分 評価済		2015年5月13日 17時00分~17時30分 評価済		2015年5月13日 17時00分~17時30分 評価済	2015年5月13日 17時00分~17時30分 評価済
第6回 2015年05月19日 13時00分~14時30分	2015年5月20日 17時00分~17時30分 評価済		2015年5月20日 17時00分~17時30分 評価済		2015年5月20日 17時00分~17時30分 評価済	
第7回 ★★★★★ 2015年05月26日 13時00分~14時30分	2015年5月27日 17時00分~17時30分 評価済		2015年5月27日 17時00分~17時30分 評価済		2015年5月27日 17時00分~17時30分 評価済	



PBL活動を支援する機能

まとめ報告 提出のべ切は 2015年05月20日 17時00分 です。

グループ

項目1

グループの「課題」に対する達成目標をまとめて下さい。

■ 課題5 項目2を関連づけて考えてください

- ・しま以外の若者にどんなスポットに行きたいかを事前調査する
- ・香岐の印象を事前に調査する
- ・香岐の人たちの要望を知る
- ・香岐の歴史を学び、現地ならではの魅力をアピールする
- ・観光客を呼び込むための方法を知る
- ・香岐に行きたい方々に何を目的としているのかを聞き、その情報に見合う

授業中にグループの課題をまとめる
→ 個人で考えてきた宿題を活用

項目2

今日のディスカッションの中において意見として出た「達成目標を達成するための達成方法」

■ 課題5 項目2を関連づけて考えてください

- ・聞き取り、インタビュー、アンケート（旅行代理店での聞き取り調査）
- ・歴史博物館の役員さんに現在の来館状況聞く
- ・SNSの活用
- ・観光スポットでのアンケート調査、インタビュー調査
- ・ツアーを企画
- ・事前に自分たちで情報を収集する

課題

個人

項目1

（本時に話し合った「達成したい状態に対する具体的な方法（達成方法）」を基にして）
あなたたちの行いたい「課題」に対して最も効果のある達成方法をどう考えますが、あなたたちの考えをまとめて下さい。
複数でもかまいません。

■b2115

課題に対して最も効果がある達成方法は、インタビュー、アンケート、聞き取り調査だと思う。
インターネットや参考文献だけでは得られない、生の声を知ることができるから。
またインターネットや参考文献では少数の意見になってしまう可能性もあるが、聞き取りなどの調査は自分たちがより多くの人に調査をすることで、たくさんの方の意見を得られるから。

■b211

達成方法は聞き取り、インタビュー、アンケート（旅行代理店での聞き取り調査）、歴史博物館の役員さんに現在の来館状況を聞くこと、SNSの活用や観光スポットでのアンケート調査、インタビュー調査、ツアーを企画、事前に自分たちで情報を収集すること。
課題は歴史や自然を学び、地域の方や観光客の方に話を聞き、情報発信をすること。
これらを踏まえて私はSNSを活用して事前にアンケートを行ったり、現地で聞き込みを行ったり、自分たちで香岐に触れることで知識を得て、それらを活用してツアーを企画し、また、情報をSNSで発信することが最も効果のある達成方法であると思う。

■b2115

私たちが課題とする、歴史・自然を学び、地域の方々や観光客の方々に話を聞いて情報を発信するという課題を達成するためには、
・観光スポットでのインタビュー、アンケート
・事前に情報を収集する
が効果的であると思う。事前に情報を収集しておくことで実際に現地で情報収集したものと比較できるため、一層深い議論に繋がると思う。

■b21

事前に香岐の状況について調査することはいい達成方法だと思います。しまが一体どういう問題を抱えており、私たちは現地で何をすべきか考えるきっかけになると思います。また、観光客のしまの印象を知ること、観光客がどう改善、アピールしていくべきかを考えることができると思います。

授業中の進め方・・・

- マニュアルの手順を基に時間とやること管理
- manabieのグループ課題を開いて、みんなで見ながら議論を進める



©2015 井ノ上憲司

eラーニング推進機構 eラーニング授業設計支援室
ランチオンセミナー



フィールドワーク計画作成の支援

- 第1段階 基礎計画
 - 基本的な テーマ・達成すること・その方法
- 第2段階 実施計画
 - 行き先・フィールドワークの内容
 - 地図情報で目的地の距離場所を把握
- 第3段階 最終計画
 - 交通手段・予約・仕上げ(アンケート項目等)
 - 交通手段の整合性自動計算・金額



第1段階 基礎計画

基本的な テーマ・達成すること・その方法

まとめ報告(実施計画書) 提出のメ切りは 2015年06月18日 17時00分 です。

グループ

基礎計画

課題

対馬に対する、「自分たちの意見」と「地元の方の意見」と「観光客の意見」をそれぞれ比較・検討し、自分たちのオリジナリティーに富んだ情報発信を行う。

達成目標

- ①対馬の「おすすめ（食べ物、見学場所、名物等）」に対する意向を知る
- ②対馬に対する印象を知る
- ③対馬における現在までの観光PR方法を知る
- ④対馬についての情報の入手手段を知る
- ⑤対馬に「来て」及び「行って」欲しい人の傾向を知る
- ⑥オリジナリティーに富んだ新しい情報発信を考える。

達成方法

- ①対馬における観光客の動向調査（各種報告書、インターネットを活用したデータ収集）
- ②厳原周辺での聞き取り調査、インタビュー調査（聞き取り・インタビュー、内容の検討）
- ③市役所における質問、聞き取り調査（質問・聞き取り、内容の検討）
- ④自分達の意見の収集（事前・事後）
- ⑤SNSの活用

第2段階 実施計画

行き先・フィールドワークの内容

まとめ報告(実施計画書) 提出のめ切は 2015年06月18日 17時00分 です。

グループ

行程

【FW】フィールドワーク内容・実施場所・許諾、【宿泊】希望地区、【作業】内容・希望場所は10回までに記入して下さい。

第1日目

【集合場所・時間】佐世保校集合(大学の用意するバスで博多港まで移動) 08:00

10:45-13:00 テストフェリー 博多港-厳原港 5,530円

AM

【立寄】厳原港

【食事】食堂を予約 対馬バーガー-KIYO 対馬バーガー-KIYO 10,000円

【立寄】宿泊場所に荷物置き

PM

【FW】対馬の観光PR状況と新しく取り組んでいることについて意見交換したい 聞き取り 対馬市役所職員

【宿泊】厳原地区

第2日目

AM

【FW】

第3段階 最終計画

交通手段・予約・仕上げ(アンケート項目等)

【集合場所・時間】シーボルト校 08:30



10:40-14:00 フェリー(なるしお) 佐世保港-小値賀港 3,

【立寄】14:00 小値賀港



0.3km

移動手段を選択して下さい

あいだの距離が出る
(住所が入っている)

【立寄】民宿丸ま 荷物預け



移動手段を選択して下さい。

【食事】各自購入



移動手段を選択して下さい。

【FW】島の現状把握(島に住んでよかった点、不便な点、島民が考える島の魅



移動手段の詳細

「路線バス」

「地図検索」

地図から、近いバス停を選択

移動手段

タクシーは路線バス検討後に選択できます。

路線バス 徒歩

キャンセル 次へ

移動詳細-路線バス-

地図検索でバス停を調べて、路線がわかったら、時刻表を見て出発・到着時刻を入力してください。利用できる場合がない場合は、OKボタンで本画面を閉じ、次画面で「他の手段に変更」ボタンをクリックしてください。

出発バス停 出発時間 00:00

到着バス停 到着時間 23:59

路線
 厳原榎橋発⇒空港⇒大吠⇒農部⇒仁位⇒比田勝、厳原発⇒空港⇒仁位⇒比田勝、縦貫線、比田勝発⇒仁位⇒空港⇒厳原

時刻表

行先	主な経由地	運休日	乗車料	積荷	乗車	降車
田勝	病院・空港		27	7:03	7:05	7:09
1 対馬病院	吾船・橋ヶ浜		2	-	7:10	7:14
2 対馬やまねに空港	橋ヶ浜入口・口		7	-	7:50	7:54
4 対馬やまねに空港			24	-	8:00	8:04
			7	-	8:10	8:14

キャンセル OK

出発・到着バス停を選択後「路線」を見る

「時刻表」の中から「路線」と同じのを探してクリック

時刻表からバス停を探して、時間を書き写す

プロジェクトの経過と私

- 1年目(2013) 様々な調達と大まかな雛形作成
 - LMSとタブレット活用の方向性を作成
- 2年目(2014) 試行として300人としまへ
 - 既存LMSで教材作成 → 改善点
- 3年目(2015) 600人の学生と教員をしまへ
 - Manabieで実施 結果は上々だが改善点
- 4年目(2016)+ 改善版の実施と今後進めること
 - まなびのプロセス強化, 地域との連携機能の強化,
ユーザインタフェースの強化, 発展性とオープンソース



1年目(2013) 様々な調達と大まかな雛形作成

3つのコース

事前学習

- 自学自習教材
(講義等補完)
- 学習環境提供



体験(実施)

- 計画
 - テーマ
 - 目標設定
 - スケジュール
- 実行(しま)
 - 予約、調整
 - 滞在管理
 - 連絡
- 報告(しま)
 - 所在確認
 - レポート集積

制作(振り返り)

- 作品制作
 - 共同制作
 - 発信
- 振り返り
 - 報告の確認
 - 相互コメント
 - 省察



1年目(2013) 様々な調達と大まかな雛形作成

University of Nagasaki

長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI
長崎の「しま」に学ぶ体験教育 学習サイト

マイコース

- 長崎しま学 事前学習コース
講師: 長崎しま学 教員0
- 長崎しま学 体験コース
講師: 長崎しま学 教員0
- 長崎しま学 制作コース
講師: 長崎しま学 教員0
- 長崎しま学 資料集
講師: 長崎しま学 教員0

コースの検索: Go

長崎しま学 体験コース

Step.2

長崎しま学 「体験コース」は、実際に長崎県内の離島で研修を行い、研修で得られた成果について報告するコースです。

「計画する」においては、グループ形成、目標設定（離島研修で何を学ぶのか）、スケジュールの立案、研修先との交渉を行います。

「実行する」では、スケジュールに沿って、旅行予約、旅行準備を行い実際にしまに行きます。

「報告する」では、実行中に起こったこと、体験したことなど気づいたことを記録します。

ニュースフォーラム

計画する

- クラスおよび、グループの形成
- テーマの選択
- 目標設定
- スケジュール提出（旅行計画）

実行する

- 旅行準備
- 滞在管理（To Doチェック）
- 緊急時、連絡等

報告する

長崎しま学 制作コース

制作コース

制作コースでは、しまにおいて実際に体験したことについて、グループメンバーや協力者の協力を得ながら、ひとつの作品としてまとめる作業です。

どんな人を対象に作品を作るか？
どんな作品にするか？
作品の評価と公開方法はどうか？
はじめに設定した目標が達成できたか？

ニュースフォーラム

振り返り
実習レポートやメモなどを元に、どのような作品にするか考えよう。

体験コースの最終レポート確認

作品への提案

対象者の決定（評価方法・公開方法）
共同作品を見て欲しい対象者を決め、どのように見せるのか、どう見て欲しいのかをまとめよう。
このことを考えるときに「しま」にどのような形で還元できるかを考えること。

- 対象者はしまの人、長崎県内、日本全国、世界中？
- 還元の方法、対象者に何を感じてもらうのか？
- 言語、メディア、見せるタイミングや場所など

対象者の提案

公開方法の提案

共同制作
グループメンバーや協力者の役割を決めて、作品制作を始めよう



2年目(2014) 試行として270人としまへ

- 4回で計画作成
- 2泊3日版
- 既存LMSで教材作成

試行実施 4回		講義科目 15回	
1. しまを知る	1. プログラムの概要・目標	1	・授業趣旨説明・進め方
	2. 過去の学生作品(5分)		・過去の学生作品(ゴールを知る)
	3. しまの概要紹介(5分)	2	・しまの概要、現状の課題
	4. しまの生の声(3名)		
	5. 次回からのPBLの進め方	3	・希望するしま毎に分かれて説明
	6. 適当にグループを作り、ワークシートに基づき、自己紹介、行きたいしまと理由を交換する		・テーマの検討(個人)
	7. グループ変更して、再度6をする		
	8. ワークシートを提出		
2. 理解を広げる	1. 宿題を元にグループ編成を発表	4	・グループワークの進め方
	2. 討議・KJ法の進め方		・リーダー決定
	3. ワークシートに基づき、しまでやってみたいこと、しまにとっての意味を付箋に書き出す	5	・テーマの検討(グループ)
	4. 3をKJ法でまとめる		
	5. 結果から達成方法・目標・テーマを議論する	6	・テーマ・目標・達成方法の決定
	6. 宿題と担当者を決める		
3. 企画する	1. フィールドワーク説明	9	・担当者(役割分担)の決定
	2. 先週の宿題を担当者から報告する		・フィールドワークの内容を決定
	3. ワークシート(企画書)に基づき、対象・場所・手段・内容・役割分担を決める。必要に応じてグループのタブレットで情報共有したり調べたりする	10	対象・場所・手段・内容・役割分担
			11
	12	・中間発表(2)	
4. 計画を立てる		1. しまの移動手段、フィールドワーク内容説明。島内バス、タクシーの時間・路線を配る。	13
	2. グループを作り、ワークシート(計画書)に基づき、実際のフィールドワーク日程を作る。	14	
	3. 一旦計画書を提出し、フィールドワークまでに個別調整をしていく		
		15	・最終確認

試行の結果からLMS改善

トップページ(上旧・下新)

基礎計画書(旧)

最終計画書(上旧・下新)

講義科目	講義科目	講義科目	NOTE
講義1	講義2	講義3	講義4

第3回・第4回 ワークシートのサンプル

フィールドワーク企画書 (第3回ワークシート) 事例2の用紙

グループ: 9月13日～9月15日 対馬

チーム名: ちんぐ

メンバー: 1人(リーダー), 2人(サブリーダー), 1人(メンバー)

内容:

- 事前調べること
 - 観光地の評判、評価(口コミ)などを利用して調べる
 - 観光客が多くなる人気のスポット(施設)・観光協会のホームページ、口コミを利用して調べる
- 現地調べること
 - 市役所(観光協会)の方へ聞くこと
 - 慣れているもの・ところ
 - おすすめのもの・場所
 - 観光客について(どんな人が多い・少ないか(年齢層、外国人など)、どんな人に来てほしいか)
 - PR方法について(現在までに行ってきたPR方法、これから行いたいPR方法)
- 観光客に聞くこと
 - 対馬の好きなもの・ところ
 - 対馬の情報収集の方法

11	FW日程	午前(9～12時)	午後1(概ね12～15時)	午後2(概ね15～18時)
12	1日目	9:00～10:30 バスにて博多へ移動(大学発8:00)	13:00～14:00 対馬パーカーで昼食	15:00～16:00 市役所(観光協会)の方へインタビュー
		10:40～13:00 ジェットホテルに到着(14:00～ オリエンテーション)	16:00～18:30 徒歩で対馬湾(観音の湯へ移動)	18:00～18:30 徒歩で対馬湾(観音の湯へ移動)
		9:00～11:00 観音の湯を歩かずにながら、観光客や地元の方へ聞き取り	12:00～14:00 対馬ふるさと伝承館にてそば打ち体験	16:30～17:30 漁火の湯にて、地元の方と観光客(聞き取り)談話
				17:30～ 徒歩にて宿舎に戻る

manabie

11月13日(月) 博多 大塚

11月14日(火) 対馬 大塚

11月15日(水) 対馬 大塚

11月16日(木) 対馬 大塚

11月17日(金) 対馬 大塚

11月18日(土) 対馬 大塚

11月19日(日) 対馬 大塚

11月20日(月) 対馬 大塚

11月21日(火) 対馬 大塚

11月22日(水) 対馬 大塚

11月23日(木) 対馬 大塚

11月24日(金) 対馬 大塚

11月25日(土) 対馬 大塚

11月26日(日) 対馬 大塚

11月27日(月) 対馬 大塚

11月28日(火) 対馬 大塚

11月29日(水) 対馬 大塚

11月30日(木) 対馬 大塚

12月1日(金) 対馬 大塚

12月2日(土) 対馬 大塚

12月3日(日) 対馬 大塚

12月4日(月) 対馬 大塚

12月5日(火) 対馬 大塚

12月6日(水) 対馬 大塚

12月7日(木) 対馬 大塚

12月8日(金) 対馬 大塚

12月9日(土) 対馬 大塚

12月10日(日) 対馬 大塚

12月11日(月) 対馬 大塚

12月12日(火) 対馬 大塚

12月13日(水) 対馬 大塚

12月14日(木) 対馬 大塚

12月15日(金) 対馬 大塚

12月16日(土) 対馬 大塚

12月17日(日) 対馬 大塚

12月18日(月) 対馬 大塚

12月19日(火) 対馬 大塚

12月20日(水) 対馬 大塚

12月21日(木) 対馬 大塚

12月22日(金) 対馬 大塚

12月23日(土) 対馬 大塚

12月24日(日) 対馬 大塚

12月25日(月) 対馬 大塚

12月26日(火) 対馬 大塚

12月27日(水) 対馬 大塚

12月28日(木) 対馬 大塚

12月29日(金) 対馬 大塚

12月30日(土) 対馬 大塚

12月31日(日) 対馬 大塚

出典・詳細: 長崎大学 紀要

<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/handle/10069/35770>

3年目(2015) 600人の学生と教員をしまへ

- 独自LMS「manabie」で実施
- 結果は上々だが改善点も [→2016改善版へ](#)
- 評価の仕組み試行
 - 学生同士の相互評価
 - ……最終作品投票 [→次のスライド](#)
 - グループワークの相互評価
 - ……社会人基礎力の自己評価と
他のグループメンバーからの比較



評価

このグループの発表を最後まで聴いて、下記の観点で点数をつけてください。

評価基準：⑤良い④③普通②①悪い

評価項目	⑤	④	③	②	①
1 【しほ視点】しほにとって、しほの人々に新しい目標・提案、うたえるものがあるか。	○	○	●	○	○
2 【計画】フィールドワークの目的・達成したい目標・手段がはっきりわかるか。	○	●	○	○	○
3 【行程】フィールドワークは計画的に行われたか、目標は達成できているか。	○	○	●	○	○
4 【発表】発表の説明・資料・順序性はわかりやすいものであったか。	○	○	○	○	○

発表に対するコメント

このグループの「良かった点」「改善すべき点」、グループへの「アドバイス」「質問」を書いてください。

学生用～ b2115013

7月発表期間 8月18日(火)～8月22日(土)

投票 発表会実施：2015年10月27日 16時20分～17時50分

投票 提出のメドは 2015年10月28日 17時00分 です。

以下、1位～3位までの順位を決定してください。

グループ	しほ視点	計画	行程	発表	合計	コメント
(巻2G)	4	3	4	5	16	発表の中でしほの経験や経元する上での関係点などがよくまとめられていた。目標と最後の成果がちょっと違っていたが、その説明があるとよい。発表時間を短くしてほしい。
国際 (巻3G)	4	4	4	4	16	〇〇がよかった。△△があまり良くなかった。
国際 (巻1G)	3	3	4	4	14	〇〇がよかった。△△があまり良くなかった。
国際 (小1G)	5	3	3	3	14	〇〇がよかった。△△があまり良くなかった。
国際 (巻1G)	2	3	4	3	12	〇〇がよかった。△△があまり良くなかった。
国際 (巻2G)	5	1	2	4	12	〇〇がよかった。△△があまり良くなかった。
国際 (巻1G)	5	4	2	4	15	〇〇がよかった。△△があまり良くなかった。

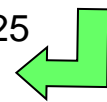
- 1位～3位を決定してください。
- 1位：国際 (巻3G)
- 2位：国際 (小1G)
- 3位：国際 (巻2G)

1位～3位を決定してください。

1位：国際 (巻3G)

2位：国際 (小1G)

3位：国際 (巻2G)



4年目(2016)+ 改善版の実施と 今後進めること

- Manabie上のまなびのプロセス強化
 - テーマ・課題 と しま の選択
 - 目標 → 達成方法 → フィールドワーク
を対応するように表示
- 地域との連携機能の強化
 - 地域の人々がログインし交流
- 発展性とオープンソース
 - 某LMSのアドオンにできないか検討



地(知)の拠点への私的な思い

- 地方が寂れつつある本当の意味は？
- 東日本震災から立ち上がった若者たち
- 既存の枠にとらわれない「活用方法」
– 若者なりの地域の活用があるのでは…

